

# PTA 主催・小学校3年生親子親睦会

団体名●金沢市立小坂小学校 PTA・2年生こども学科 フィールド基礎演習／代表者名●芥川元喜(人間科学部准教授)

## はじめに

こども学科2年生のフィールド基礎演習の授業では、各ゼミナールで様々な団体と連携した特色ある多彩なフィールド活動を行っている。本稿ではこのフィールド基礎演習における金沢市立小坂小学校 PTA との連携活動を一事例として記述する。

2019年6月土曜日に行われた小坂小学校3年生の PTA 主催の親子親睦会に、2年生8名の学生が参画した。親子の交流と親睦を趣旨とした親睦会に参画し、どのような内容にして交流を進めるのか、企画の段階から何度もゼミナールで話し合った。親子だけではなく、兄弟、姉妹の参加も想定し、参加する子どもたち、保護者の方に怪我がないことを第一に考え、安全で楽しい親睦会にすることを目的にして活動した。

子どもや保護者の安全を第一に考えるため、活動は、当日だけではなく、PTA の役員さんとの打ち合わせや、会場の下見、使用する道具の確認なども事前に行った。



また、考えたレクリエーションについてはシミュレーションも行い、安全確認を行った。

## 活動内容

親睦会では、最初に運営をする学生の自己紹介、全体の準備体操を行った後、クイズポイントラリー、フラフープくぐり競争を行った。

2年生の学生にとっては、初めて運営を任せて頂いた活動であった。それぞれの学生の担当を決め、その担当を各学生が持ち味を生かし、精一杯取り組んだ。



前述したように、どのレクリエーション

も事前にシミュレーションを行い、準備は万全にして参加したが、当日は受付に時間がかかってしまったことや、ゲームで、すぐに勝負がついてしまい、予定にない再度行うゲームがあるなど、予期せぬことも度々起き、その都度考え、相談し、対応した。臨機応変の対応の大切さを各自、実感できたようであった。参加した保護者の方からは、どの活動も子どもたちがとても楽し



そうに活動していた、学生さんがよくしてくれた、などの御言葉を頂いた。

## 成果、結果の考察

活動を終えて終わりではなく、ゼミナールでは振り返りを行い、反省事項を話し合った。将来、教員を志望する学生にとって子どもたちに声を掛け、全体を動かす経験は貴重であったが、そうしたことの難しさも実感したようであった。教員になる上で、教育実習に行く上での各自の課題も見つけていた。こうした自分たちの課題を見つけることもフィールド活動の重要な学びである。

小坂小学校の勝田敬子校長からは本活動の報告の際に「学生にとっては、フィールド活動は失敗こそが大事な学び」というお言葉を頂き、学生への温かいご姿勢を感じた。こうした機会を学生に与えて頂き、学生が会場の暑さ対策が必要であると相談するとお茶を会場に用意して下さったり、ポイントラリーの正解者用の商品もご用意頂いたり、学生を温かく支援し、見守って下さった小坂小学校の校長先生、先生方、小坂小学校 PTA の役員の皆様に御礼を申し上げます。